

# ひらいずみ 議会だより

第157号

平成29年11月1日

定例会9月会議



## 大家族、集合！

大文字の駒形峰を背に91歳のひいお祖母ちゃんを囲んで鈴木信一さん一家（瀬原）の記念撮影！この日は、末っ子の陽太君の運動会（ふたばきり園）でした。

## 目次

定例会9月会議 ②～

一般質問 ⑥～

活動報告 ⑮～

私もひとこと／あとがき ⑱～

私も  
ひらいずみ

岩淵 宇晃  
平泉字三日町



## 小さな頃から 育む平泉愛

私は平泉町が小さな頃から好きでした。その頃は理由も解らず漠然とした気持ちだったのですが、4年間県外の大学に通い帰郷して、町の職員として働き、諸行事に参加する事により、少しずつその理由が見えてきました。その理由として、子どもを含め色々な年代が参加出来る町行事の豊富さにあると思われれます。稚児行列・花祭り・子どもみこし・節分会・藤原まつり・大文字送り火・精

私は今、町で保育の仕事に携わっています。可能であればこれからの子ども達にも、ぜひ平泉が大好きになって欲しいです。そのためにはまず小さい頃から積極的に町行事に参加して欲しいと思います。それには家族の協力が不可欠です。ぜひ、家族ぐるみで町行事を楽しんで下さい。

次は町の歴史を学んで欲しいです。他の市町村にはない歴史・先人の考えを学び、世界遺産の価値を知り、受け継ぎ、守る事の大切さを知る。郷土に対する誇りを感じ、郷土愛が目覚めます。そのような子ども達が多く育ち、大人になり、町を引っ張っていく。という、私の密かな夢計画を進めていけたらなと思っています。



そのためにも、町ぐるみで子ども達を守り、大事に育てていくことが大人の役目、私の役目と思っております。そして、今以上に平泉愛を広げていきたいと思っています。是非、皆様にもご協力よろしくお願いたします。

## 自慢の大家族



鈴木家は、昭和50年に奥州市衣川区から平泉町瀬原に引っ越してきました。当時、衣川村の日向地区に家がありましたが、ダム建設のため移転を余儀なくされたということです。莉奈ちゃん、華奈ちゃん、そして今日の運動会で一等賞だった陽太君、大はしやぎの3人姉弟に目を細めるひいお祖母ちゃん、温かいご家族でした。

## あとがき

対話する社会へ

赤ちゃんに対する親の対応では、相手が分かっていても分からなくても話しかけたり抱きかかえたりして乳児の反応を確かめます。それとともに親も子ども自己や人間について新たな発見をし、考えを深くします。

「対話」という行為が本源的な行為であるという本を読みました。その中に、「対話をする」とは、自分と自分の社会という場と絶えずつながっていること」と指摘しています。

対話の喪失はいかに危険か管理された教育現場対話を拒否する行政の問題、「対話のない社会は支配者にとってとても都合のいい社会」です。相手を尊敬し、ともに考えを深くする「対話」を大事にしたいですね。

阿部圭二

## 編集スタッフ

委員長	升沢	博子
副委員長	水室	裕史
委員	阿部	圭二
委員	寺崎	敏子

議会だよりは再生紙を使用しています

市民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

# 定例会9月会議

定例会9月会議は9月6日から15日まで10日間の会議期間で開かれました。初日は23件の議案が上程され、また、最終日には、人事案件など4件の議案が上程され、全ての議案が全員賛成で、原案のとおり可決しました。また、一般質問には8人の議員が登壇し、町政課題について町長の考えをいただきました。

## 報告案件

●損害賠償の額の決定に関する専決処分報告について  
▽臨時職員運転の大型スクールバスの接触事故による、相手方への賠償額の決定を報告したものの。

## 事件案件

▽平成28年度の一般会計を含む9つの会計について、決算審査特別委員会を設置して審議し、その結果に基づき、すべての会計で認定としたもの。

## 人事案件

(全員賛成で可決)  
▽水道事業の利益の処分について議決を得ようとするもの。

## 質疑

ポンプ車の購入過程と機能は。

総務課長

●平成29年度補正予算(全員賛成で可決)  
8会計でそれぞれ補正予算が上程されました。一般会計の主な補正の内容は次のとおりです。

## 補正予算案件

- 〔歳入〕
- ・町民税 1547万円
- ・道路橋梁費国庫補助金 1154万円
- ・林業費県補助金 1601万円
- ・財政調整基金繰入金 △4711万円
- ・前年度繰越金 1億2979万円
- ・臨時財政対策債 △1490万円
- 〔歳出〕
- ・財政調整基金積立金 6746万円
- ・浄土の館環境整備工事 420万円
- ・アカマツ広葉樹林化伐採委託料 1601万円
- ・小金沢橋修繕工事 2400万円

千葉勝男議員  
スマートインターチェンジ整備事業に伴う用地買収の価格はどのように決めたのか。

建設水道課長  
買収単価は不動産鑑定により決定した。価格は形状、面積による補正等を行った。

佐々木一治議員  
新しく購入する



整備が進む無量光院跡(平成32年度完了予定)

佐々木一治議員  
新しく購入する

佐々木雄一議員  
水道事業会計の剰余金の配分方法は決まっているのか。

建設水道課長  
資本的収入額が資本的支出額に不足する額を補てんした。減債基金積立は剰余金の2割を基本にしている。

- 〔歳入〕
- ・町民税 1547万円
- ・道路橋梁費国庫補助金 1154万円
- ・林業費県補助金 1601万円
- ・財政調整基金繰入金 △4711万円
- ・前年度繰越金 1億2979万円
- ・臨時財政対策債 △1490万円
- 〔歳出〕
- ・財政調整基金積立金 6746万円
- ・浄土の館環境整備工事 420万円
- ・アカマツ広葉樹林化伐採委託料 1601万円
- ・小金沢橋修繕工事 2400万円

## 平成29年度各会計補正予算

会計区分	補正額	補正後予算額	
一般会計	1億2889万円	48億9462万円	
特別会計	国民健康保険	775万円	10億250万円
	後期高齢者医療	86万円	8036万円
	健康福祉交流館	8万円	6518万円
	町営駐車場	432万円	6592万円
	下水道事業	△89万円	3億4600万円
	農業集落排水事業	34万円	7384万円
簡易水道事業	290万円	2億800万円	

## 認定案件

●平成28年度決算の認定について(9件)  
(全員賛成で認定)

●平成28年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

●健全化判断比率及び資金不足比率の報告について  
▽町財政の健全化を示す数値の報告がされました。監査委員からの意見書では良好であるとの審査結果でした。

●財産の取得に関し議決を求めることについて(2件)  
(全員賛成で可決)  
▽(仮称)平泉スマートインターチェンジ関連駐車場事業による土地の取得によるもの。  
▽第4分団への小型動力ポンプ付積載車の購入によるもの。  
契約額777万6千円。

●教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて  
(全員同意)  
三浦英子さん 再任  
(平泉字志羅山)  
任期は平成33年9月30日までの4年です。

●固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて  
(全員同意)  
須藤昭義さん 再任  
(平泉字花立)  
任期は平成32年9月27日までの3年です。

●高橋拓生議員  
橋梁修繕工事の場所はどこか。  
●高橋伸二議員  
地域活力推進費と地域課題対応事業の位置づけを伺う。  
●小金沢橋である。計画的に毎年1橋は補修をしていきたいと考えている。

●地域活力推進費として当初予算で1000万円の予算枠を確保している。

その後、道路の維持補修等、地域の要望として事業が決定した場合に、地域課題対応事業として、担当課に予算を組み替えし、事業を実施している。

地域活力推進費については全て地域課題対応事業に充当している。

## 補正予算質疑

問 佐々木雄一議員  
アカマツ広葉樹林化伐採委託料の内容は。

答 農林振興課長  
中尊寺境内及びその周辺のアカマツ等の枯損木を伐採し、広葉樹への更新を図るものである。事業費は全額県補助となっている。

問 三枚山光祐議員  
浄土の館の整備事業の内容は。

答 まちづくり推進課長  
フェンスや毛越寺駐車場からの階段等の周辺整備である。

問 三枚山光祐議員  
店舗リフォーム促進支援事業の利用状況は。

答 観光商工課長  
現在交付決定を

## 監査意見

代表監査委員 鈴木 清三 / 議選監査委員 佐々木 雄一

平成28年度の決算認定にあたり、監査委員から決算審査意見書の報告がありました。その概要は次のとおりです。  
なお、監査委員が行う決算審査は平成29年8月1日から8月18日まで実施しました。

### 審査結果の講評(要約)

- 収入未済額の組織的な圧縮  
町税の収入未済額は前年度に比べ、622万円減少し、徴収率は0.7ポイント増加しました。  
全ての税目における徴収率増加及び国民健康保険税(現年度分)における県内第3位の徴収率は、日頃からの地道な努力の成果であり評価に値するものです。納税環境においては厳しい情勢の中ではありますが、町税は歳入の根幹をなすものであり、同時に税負担の公平を確保するためにもさらなる努力を望みます。
- 時効を意識した徴収  
不納欠損額の総額は434万円で、前年度に比べ219万円増加しました。  
不納欠損に至らないよう滞納初期の対応が極めて重要であり、徴収可能な債権と徴収不能債権を整理し、早めの執行停止を決定するなど、漫然と

- 時効完成を待つことがないように努めてください。  
※不納欠損とは…滞納分の徴収金が徴収できなくなったとして、その金額を損失として消滅させること。時効、破産、生活困窮、行方不明など徴収できないことが明らかな場合等に不納欠損として扱う。
- 時間外勤務の圧縮  
管理職が業務状況を把握し、専門知識の必要性を理由に一部の職員に負担がかかる現状の改善に努め、時間外勤務の圧縮及び職員の健康管理の両面から全庁的に取り組んでください。
  - 大型事業と財政計画  
人口減少に合わせて生産年齢が減少している現状で、(仮称)平泉スマートインターチェンジ整備事業や社会教育施設整備などの大型事業が控えており、次世代への負担軽減に配慮した財政計画に努めてください。

# 平成28年度決算を認定 総額70億円の使い方を厳しく審査

## 決算の主な質疑



委員長  
千葉勝男



副委員長  
真篁光幸

平成28年度一般会計、特別会計及び水道事業会計決算認定にあたっては、決算審査特別委員会を設置し、2日間に渡って審査しました。審査の結果は、認定すべきものとして、意見を付けて本会議に報告しました。

決算は町の財政の収入と支出を集計した計算書です。決算審査は適正に事業が執行されたか行政効果を審査し、その結果は次の予算編成や業務に生かされる重要なものとなります。

**問** 真篁光幸委員  
保育所利用者負担金の過年度分の収入未済額の徴収の見込みは。

国からの補助金が減額した状態が続いているため、無量光院の保存修理事業計画にも影響が生じている。

**答** 町民福祉課長

該当者の町外への転出等により徴収が困難な状況にあり、不納欠損になる可能性がある。

**問** 升沢博子委員

一般会計における多額の不納欠損に関して、原因をどのように考えているか。また、今後の対策は。

**問** 三枚山光裕委員  
特別史跡無量光院跡保存修理事業補助金の減額の経過と影響は。

**答** 平泉文化遺産センター所長

固定資産税における不納欠損が多く、その要因として、滞納者の死亡や相続人の担税力の

**答** まちづくり推進課長  
同じ団体が受け続けるのはふさわしくないが、新たな団体が出てこないこと、また、まちづくり推進課における普及啓発が足りなかったこ

## 決算審査意見

- 1 町税及び税外収入の未済については、新たな収入未済の発生防止を図るとともに、一層の縮減に努力されたい。
- 2 委託事業、補助事業及び交付金事業については、その成果の検証・報告を積極的に行い、効果的に取り組まれない。
- 3 子育て支援については、心身の健全な発達を図るため、実効性のある施策の展開に努力されたい。
- 4 農業振興にあたっては、耕作放棄地の増大を防ぎ、農地の有効活用を促進するための施策を展開されたい。

**問** 三枚山光裕委員  
代替バスの利用状況は。また、新しい交通体系と関連してデマンド

タクシー等で現在議論になっていることはあるか。

**答** まちづくり推進課長  
市内の交通空白地に代替バスを一路線出すという事で、運行費補助金を東磐交通に出している。利用者数は、それほど多くはないが、地

域の方からの要望により、利用者の多少に関わらず、今後も運営していきたいと考える。デマンドタクシーに関しては市内の交通形態の選択肢の一つとして考えられるが、地域の足として何が最もふさわしい形なのかを検討しているところである。

**問** 高橋伸二委員  
空き家調査業務委託料に550万円支出しているが、この調査結果をどのように活用するか。

**答** 建設水道課長  
活用するための協議会を10月に開催し、計画を作る予定である。



定住促進のための宅地分譲地（泉屋住宅跡地）

**問** 高橋伸二委員  
協議会の立ち上げにとどまらない移住対策まで展望した活用が必要なのではないか。

から、外部の意見を取り入れる方法を考え、移住定住対策について進めていきたいと考える。

## 平成28年度 各会計決算

会計名	収入済額	支出済額	(参考) 27年度支出済額
一般会計	51億370万円	49億6877万円	44億2863万円
特別会計			
国民健康保険	10億1653万円	9億2337万円	9億9984万円
後期高齢者医療	7956万円	7870万円	7628万円
健康福祉交流館	6568万円	6249万円	6178万円
町営駐車場	8638万円	8205万円	7561万円
下水道事業	3億3631万円	3億3434万円	3億2450万円
農業集落排水事業	9489万円	9291万円	6686万円
簡易水道事業	1億7310万円	1億6125万円	1億1607万円
合計	69億5615万円	67億388万円	61億4957万円

会計名	収入済額	支出済額	(参考) 27年度支出済額
水道事業会計			
収益的収入・支出	1億8228万円	1億5262万円	1億4340万円
資本的収入・支出	8333万円	1億6729万円	8637万円

資本的収入の不足額は積立金、過年度分の留保資金等で補てんした。

**問** 高橋拓生委員  
観光経済波及効果分析委託の486万円は、国の予算で行っている事業である。内容は、季節ごとの4つの月を選定し、3カ所で観光の予算や実費、交通手段などを聞き取りして分析を行うものである。DMOによる地域づくり事業負担金は地方創生の加速化交付金の繰越事業ということで、

**答** 観光工商課長  
観光経済波及効果分析委託の486万円は、国の予算で行っている事業である。内容は、季節ごとの4つの月を選定し、3カ所で観光の予算や実費、交通手段などを聞き取りして分析を行うものである。DMOによる地域づくり事業負担金は地方創生の加速化交付金の繰越事業ということで、

**答** まちづくり推進課長  
この空き家対策は、実態的な部分を基礎調査するものである。それらに基づいて議論しな

※DMO  
地域全体の観光マネジ  
メントを一本化する着地  
型観光の組織

# ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

## 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。

9月会議では8人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

### ● 真筈 光幸 議員 … P7

- ① クマの目撃情報周知について
- ② 災害への備えについて
- ③ 認定こども園について

### ● 寺崎 敏子 議員 … P11

- ④ 就学援助の「入学前支給」の具体化について
- ⑤ 新中学校学習指導要領で示された内容について
- ⑥ 長島球場への女子トイレの設置について

### ● 氷室 裕史 議員 … P8

- ① 町内への移住促進施策について
- ② 平泉町の発掘調査に関して

### ● 高橋 拓生 議員 … P12

- ① 子育て支援の充実について
- ② イベントの事業内容について

### ● 升沢 博子 議員 … P9

- ① 地域包括ケアシステムと第7期高齢者福祉計画について
- ② 国民健康保険制度改革について
- ③ 空き家対策と移住、定住化策について

### ● 高橋 伸二 議員 … P13

- ① 第4次行革プラン初年度における取り組みの成果と課題
- ② 『自転車活用推進法』の施行に伴う本町の対応
- ③ 参政権と投票立会人制度

### ● 三枚山光裕 議員 … P10

- ① 町職員の職務にかかわる倫理保持について
- ② 天候不順による農業などへの影響に対する対応について
- ③ 一関地区広域行政組合の課題となっている新焼却施設の建設費等の平泉町の財政負担について

### ● 阿部 圭二 議員 … P14

- ① 介護保険について
- ② 水道事業について

## Q クマの目撃情報、町民への周知徹底を

### A 猟友会と情報共有し、周知を図る



真筈光幸 議員

**問** 現状の提示の仕方では不十分である。北上市のような情報量、見出しの大きさ等、住民への注意喚起の工夫をどう考えるか。

**農林振興課 長** 例示された他市町村の方法が、住民への周知という意味ではよいと考える。

## 一般質問

**問** 児童を含む、より多くの住民へ告知するため、図書館にも設置してはどうか。



北上中央図書館の見やすい情報掲示

**問** 特別警報が出たときは既に災害が発生している可能性が高い。避難勧告・指示までの対応をどうとるのか。

**町長** 気象庁やホットラインなどからの情報を入手しながら対応する。

**問** 特別警報を待たずに避難させる措置が必要になることを想定しなければならないか。

**総務課長** マニュアルはまだ整備されていません。

**問** Jアラートに関するし、平時から危機管理意識を児童に持たせ災害から生命を守る意識とその時の避難行動を教育する必要があるのではないか。

**町長** 現状、緊急性や整備コスト・効果、地域バランス等を考察しながら優先度を見極め対応している。

**問** ため池の真下に居住区域が位置している。災害の備えのため、袋小路の解消が必要であり、生活道の幅員拡張と町道間の接続をすべきではないか。

**町長** 現状、緊急性や整備コスト・効果、地域バランス等を考察しながら優先度を見極め対応している。

**問** 防災無線から流れた国民保護サイレンが屋外では聞き取りづらい。地区公民館などへのスピーカー設置も必要ではないか。

**総務課長** 適切な伝達方法を検討していきたいと考えている。

**議員のひとりごと** 熊という字は能力を持つ四足と書きます。知能が高く、執着心も強い。一度味をしめると何度も繰り返し返します。十分な警戒と餌になるものの屋外放置しないことの徹底を！

### インフォメーション

#### 陳情書の提出方法

町民の皆さんの意見や要望などを町政に反映させる方法として、請願・陳情の制度があります。請願書や陳情書の作成方法や提出する場合の注意事項は次のとおりです。

- ① 請願・陳情の内容は、要旨や理由を簡単にわかりやすく記載し、提出年月日、提出者の住所と氏名を書いて押印してください。
- ② 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名又は記名押印をしてください。
- ③ 紹介議員がいなく、陳情書として提出してください。
- ④ 道路や建築物などの場合は、簡単な地図や略図などの図面を添付してください。
- ⑤ 請願書や陳情書は、定例会議で審査されますので、定例会議前の早めの提出をお願いします。

〈内容〉

年月日

平泉町議会 議員 ○○○○ 様

請願(陳情)者の住所 氏名 ○○○○ 印

〇〇についての請願(陳情)(要旨) ……………

(理由) ……………

〈表紙〉

請願(陳情)書

紹介議員 氏名 ○○○○ 印 (陳情の場合は紹介議員不要)

・用紙サイズはA4です。

### Q 農業振興を見据えた移住促進施策は A 慎重な対応をしていきたい



水室裕史 議員

**問** 移住を希望する若年の新規就農者への住宅補助などの考えは。

**まちづくり推進課長** 他の市町村で中古物件購入等に助成制度があることは把握しているが、町外からの移住者だけを優遇するのは町民感情を考えると難しい。そのため、現段階では助成制度を単独で行うことは慎重であるべきと考えている。

**問** 発掘調査（費用や期間）が町外企業の進出や起業を妨げた例は。

**原則の調査期間外での発掘も多く行われているが。**  
**平泉文化遺産 センター所長** 天候や事情で弾力的に行っている。

**問** 町営住宅に関する問い合わせと入居状況は。

**町長** 今年度は町内外から7件の問い合わせがある。昨年度は、上野台団地に7件、高田前住宅には3件の入居があった。大沢、花立、大佐団地は老朽化により、補修が困難であるため新規入居の募集は行っていない。

**問** 町営住宅への入居資格の緩和等については。

**町長** 町営住宅の管理運営が、公営住宅法に基づいて行われており、入居資格も同法及び町営住宅管理条例により規定されている。加えて国からの通達により、自治体が独自に優先入居の事由を設定することはできないとされているため、町独自の緩和策は無理である。



どの自治体も移住促進施策には注力している

**Q 発掘調査の調査期間の見直しはいるため難しい**  
**A 県内の通例となっている**

**教育長** 発掘調査費用は、原因者負担の原則により、開発事業者が負担する。個人住宅の場合は国庫補助制度を活用するため、個人負担はない。企業の進出や起業を妨げた例は直接的には聞いたことはない。

**問** 野外調査期間と室内整理期間の見直しの考えは。

**平泉文化遺産 センター所長** 4月～10月を調査期間とし、11月～3月を整理期間としているのは、冬期は土の凍結等で調査にならないためである。これは県内の通例となっているため変更は難しい。

**問** 平泉町として、文化財保護だけではなく、実際に文化財に触れて学ぶ機会をどう考えているか。

**教育長** わくわく平泉スクールを通して、子どもたちに平泉の価値を発掘して学ぶ機会を提供している。

### Q 高齢者の住民主体サービスの進め方は A アンケート結果から地域の支え合いを



升沢博子 議員

**問** 当町の地域包括ケアシステムの取り組みは。

**町長** 住み慣れた地域で安心して必要な医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスなどの支援が包括的に確保される体制である。これはまさに地域づくりそのものと考えている。

**町長** ボランティア活動の意向や高齢者の状況把握のために65歳～74歳が1119人、75歳以上998人から回答いただいた。地域づくりの資料として、また第7期高齢者福祉計画策定の資料としても活用する。

**問** アンケート結果を見ると65歳～74歳までが「地域活動へ参加している」が53%、「地域社会に貢献できた」、「助け合えた」、「生活に充実感ができた」の声がある。期待の持てる町民の意識であり、今後この結果をもとに住民主体サービスに繋げていくべきではないか。

**町長** 「いきいき百歳体操」も8地区が取り組み、買い物支援など各

行政区で様々な取り組みがされている。活動に対しては介護保険制度による補助金の交付もあり、地域の実情に合った支援をしていきたい。

**Q 空き家の活用策は**  
**A 相談窓口や空き家バンクの設置を**

**問** 平成28年度に行った空き家の実態調査結果は。

**町長** 区長の報告では空き家は165戸、現地を調査したのは163戸、その結果、空き家としたのは152戸であった。そのうち※「特定空き家」の可能性が高いとしたのが6戸となった。

**問** 「空き家等対策計画」策定の進捗は。

**町長** 空き家対策協議会を組織し協議したうえで年度内の策定を目指している。計画の中で「特定空き家」の基準や措置の実施の流れを示し、所有者への助言・指導を進めていく。

**問** 空き家バンク設置の考えはあるか。

**町長** アンケート調査により、「賃貸住宅として貸したい」、「売却したい」などの意向の所有者がいるので不動産業者との連携を図

り、「空き家相談窓口」や「空き家バンク」の設置に取り組んでいく。  
**問** 町外からの移住者を増やすための空き家活用は。

**町長** 「空き家バンク」を活用し、貸したい人、借りたい人のマッチング機能の強化に努める。「田舎暮らし」、「古民家暮らし」も注目されているので、平泉の魅力と合わせて積極的に情報発信していく。

**その他質問事項**  
・国民健康保険制度改革について

**問** 4月に行ったアンケート調査の結果

4月に行ったアンケート調査の結果



百歳体操で元気な高齢者を増やしたい

※特定空き家  
周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家。衛生上、保安上有害となる恐れがあり著しく景観を損なっている空き家。

# Q 就学援助の入学前支給の具体化は A 3月支給を実施する



三枚山光裕 議員

**問** 就学援助の入学準備金の「入学前支給」についての、実務はどのように進んでいるのか。

**教育長** 入学前支給に向け準備を進めている。就学援助要綱を9月中旬に改正する。12月に入学予定者への周知、申請書の送付を行う。平成30年1月に申請受付、2月に認定を決定し、3月上旬に支給を見込んでいる。



心配される今年の作柄

**Q** 天候不順による農業への対応は  
**A** 今後とも適切に対応する

**問** 天候不順で農作物への影響が現れている。関係団体と連携し、万全の体制を。

**町長** 一関地方異常気象対策会議を開催した。今後も関係機関と連携を密にし、情報共有を図り、農作物の被害対策について適切に対応したい。

**Q** 新焼却施設建設の平泉の財政負担は  
**A** 建設費の変動により負担も変わる

**問** 一関地区広域行政組合の新焼却施設の建設費等の平泉町の財政負担はどの位になるのか。

**町長** 場所等を含め確定していないので正確な算定はできないが、新焼却施設建設が約85億円から90億円の見込みで、平泉町の負担割合6・12%（平成29年度割合）で算定すると、約5億2千万円から5億5千万円程度である。余熱活用施設が10億から12億円で町の負担は6100万円から7300万円程度、建設費の変動に伴って負担も変動する。

**Q** 長島球場内のトイレの設置は  
**A** 対応は困難である

**問** 長島球場の球場内に女子トイレがない。スポーツ少年団には女子選手もいる。お母さんたちが球場内のボランティアもしており必要だ。追加で女子トイレ工事をした業者の話も聞いた。増設工事は技術的に可能だと考える。お金をかけなくとも、役場には技術職の管理職も多い、知恵を集めて、お金をかけない方法も探求を。



球場内にも女子トイレの設置を

定例会9月会議は「熱い論戦」となりました。特に、決算特別委員会は冷房も効かないほどの熱い議論でした。

議員のひとりごと

# Q 育児支援は早期の対応で

## A 相談窓口の設置の検討を



寺崎敏子 議員

**問** 育児支援を必要とする親子への家庭相談支援員の考えは。

**町長** 家庭相談支援については、発達障がいにとどまらず子どもに関する問題について総合的に対応するワンストップの窓口を設置し、きめ細かな支援体制の検討を進めたい。

**問** 集団行動や学習面などで発達の遅れが必要な子ども達に

特別支援員が増えているが今後の対応策は。

**教育長** 日々の学校生活だけでなく家庭関係・集団生活への適応などは、心身の医学的診断や社会性の行動については専門的な知見で総合的な支援が重要と考えている。

**問** 発達面で適切な指導助言が必要な子どもには関係機関の連携を図る「支援チーム」

**教育長** 多様なニーズにこたえられる一貫した相談支援に努める「支援チーム」を組織することが重要と認識している。

の設置は。

**問** アレルギー疾患（合成化学物質過敏症）の子どもの増加している

**町長** 合成化学物質過敏症が直接発達障がいとの因果関係があるかは承知していないが、子育て支援事業を進め

る中で保護者に合成化学物質の健康影響に関する情報提供をしたいと考えている。

**Q** 協働まちづくり交付金の活用は  
**A** 住民の自主的な活動に交付を

※合成化学物質過敏症  
洗剤、消臭剤、殺虫剤、農薬等による身体の機能異常で発する症状

地域活動の推進を

**問** 交付金の目的は。



親子で遊ぶピヨピヨ広場

**問** 夏まつりイベント

ト事業の一部を交付金活用した「美菜の平泉音頭」については、活動目的から逸脱した事業内容と聞いているがその見解は。

**まちづくり推進課長** 町婦人会化に寄与され団体の一体感が醸成されたと評価している。



「水かけ神輿」の宵宮で踊る婦人会員

- 忘れてました三つの心  
1.「ハイ」と言う素直な心  
2.「すみません」と言う反省の心  
3.「ありがとう」と言う感謝の心  
まずは自分から!

議員のひとりごと

### Q 通学路交通安全プログラムの実施状況は

#### A 平成27年以來、合同点検を毎年実施



高橋拓生 議員

**問** 合同点検の実施状況について伺う。

**答** 一関、平泉線の移設、改修計画について伺う。

**教育長** 8月上旬に各小学校及び平泉中学校担当者、各駐在所員、スクールガードリーダー、道路管理者等、役場職員参加のもと、合同点検を行った。今後も毎年度、通学路の状況について適宜確認を行い、安全確保に努めていく。

**町長** 一関北上線に柵ノ瀬橋の上部工の工事が行われているが、その後には検討していくとの回答があった。七曲の交差点から長島体育館に向かう北側の歩道がない現状についても、根本的な改良が必要であり、県に対して要望活動を行っている。



中学校線に新設された防犯灯

**問** 通学路の街灯・防犯灯の設置計画は。

**町長** 各区分長、小中学校からの要望を踏まえ、現地視察を行

い、予算の範囲内で順次設置し、地域住民及び児童生徒の夜間通行時の安全確保に努め、安心・安全なまちづくりを推進していく。

**問** 6月会議で取り上げた中学校線防犯灯設置の進捗状況は。

**総務課長** 旧4号線下の東西に1カ所ずつ新設し、バイパス合流地点の街灯も修理さ

れ、中学校線の街灯・防犯灯は、既存の2カ所と新設の2カ所、修繕の1カ所の計5カ所に改善された。

**問** 県道相川平泉線の除草対応は。

**建設水道課長** 県から町に委託され、町で業者に再委託している。県の担当者が変わり、例年に比べて発注が遅れた。来年度は早期の発注要望をしていく。

**問** 農業委員、農地利用最適化推進委員の役割は。

**町長** 農地利用の最適化対策の推進が現地の状況を把握している推進委員の意見を聞きながら議論し策定する。農業委員会が最適化のための施策の改善が必要と判断した場合、関係行政機関へ対して施策の改善意見を提出し、農家の要望に沿った細やかな農業振興の推進を図る。

### Q 農地利用の最適化対策は

#### A 農業委員、推進委員で課題を解決していく

**問** 農業委員会法改正による農地利用最適化対策は。

**町長** 法改正で任意業務であった担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規参入の促進を加えたものが農地等の利用の最適化となる。

新生農業委員会に求められているのは、今ある農地を活かし、守り、残す取り組みである。

議員のひとりごと

### Q 自主財源の確保と効率的な行政経営は

#### A 実施状況の進行管理を適切に行う



高橋伸二 議員

**問** 町長の施政方針では「安心して暮らし続けることのできる町の実現をめざす」と述べているが具体的な方策が示されていない。

**問** 自主財源を確保したと述べるが、これは一過性のものである。恒久的対策が求められている。

**町長** 財産の売り払い収入と未利用地の売却により歳入の確保に努めてきた。財源の確保などに引き続き取り組み、行政の効率化に向けた課題を検証し、具体的な事業施策の実施に努める。

**問** 第4次行革プラン初年度の取り組み結果からの課題は何か。

**総務課長** 定めた項目を「実施したか、しないか」の評価に終わっている。

**町長** 取り組みの未達成が8項目ある。自主財源の確保を含め、行政の効率化に取り組み。

**問** 行革プランの課題を検証し進行管理を適切に行うと答えたが検証しているのか。

**総務課長** 行革委員会の中で検討しているが具体的な形では実施していない。

**問** 実績評価方法は現状と乖離している。6年間その手法は変わっていない。評価方法の見直しが必要である。

**町長** 現在は区長・民生委員を中心

行政のスリム化や事業評価・政策評価に取り組み。

**問** 「行政コスト計算」を行っているれば、住民に対するサービスコスト評価と行革プランで取り組むべき課題を鮮明にすることができると「行政コスト計算書」を活用すべきである。

**総務課長** 「行政コスト計算書」はまだ作成できていない。29年度末までには作成したい。

### Q 18歳からの投票立会人の採用は

#### A 青年層の年代からの「公募」を検討する

**問** 選挙権が18歳からとなり、平泉町では122人が新たに有権者となった。投票立会人として採用してはどうか。

**問** あわせて、「立会人登録制度」を導入する考えはないか。また、選挙離れを防ぎ投票率向上を図る積極的な啓発活動を行う必要がある。

※行政コスト計算書とは、当該年度の住民サービスの提供に要したコストと、その資金源である収入の状況を示す表のことです。住民サービスに要したコストを把握することで、行政の効率性を追求するにあたっての検討材料にすることが出来ます。行政コスト計算書は、収入と経費の差額を算出することにより住民サービスの提供に要したコストを明らかにすることを重視しています。

**町長** 今の提案を参考に従来と違った方向でできるように対応していきたい。

その他質問事項  
・「自転車活用推進法」の施行に伴う対応

総論的に28年度決算を見ると、一般会計・特別会計ともに役職員の1年間の努力が結果に表れている。成果を単年度に終わらせず、健全化に邁進してほしいと願う。

議員のひとりごと

# Q 今後の介護支援サービスは A 地域による在宅サービスを強化していく



阿部圭二 議員

「介護」を開催しており、さまざまな課題などを共有して対応して、一関市医療と連携して病気や入院の情報を共有する「暮らしのシート」で切れ目のない在宅医療と介護の提供体制に取り組む。また、今年度から病気

や薬、検査結果、介護の状況などを医師や歯科、病院、薬局、介護事業所、行政などが共有できる「未来かなえネット」に取り組み、的確で迅速な対応を行えるように進める。

条件は要介護3以上の方が対象となったが要介護1・2の方でも状況によって可能となっている。介護保険にかかる独自の軽減や緩和措置は難しい状況にあるが地域での介護予防活動の活発化などにより介護への経費や保険料を抑えていくよう取り組んでいく。



誰もが安心できる水道事業を

**問** 2025年に向けての取り組み状況「地域包括ケア計画」として、在宅サービス、施設サービスを今後どのような方向で充実させていくのか。

**町長** 2025年は約800万人いるといわれる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる超高齢化社会に突入することにより介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念される問題

**問** 医療・介護等の取り組み方針は。

**町長** 町内医療・介護関係者で構成する「平泉町在宅医療介護連携推進会



介護があって良かったと思える平泉町へ

**問** 制度改正による所得合計が160万円以上の利用者負担2割以上への変更による利用者の生活を守るための負担軽減、緩和処置や手続き上の負担軽減などは考えているか。

**町長** 低所得者の施設利用の食事・部屋代の軽減処置については介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設やショートステイを利用する所得の低い方に対して食事・部屋代の負担軽減をしている。

平成27年から公平性を高めるために、一定の資産をお持ちの方には負担していたこととなった。特養老人ホームの住居

**Q** 民間による水道事業についての考えは大幅な値上げなしには対応できないはず

**問** 民間による水道事業を平泉へ導入することにしていきたいか。

**町長** 民間業者は大幅な値上げなしには対応できない。一つの方策として広域的な連携への取り組みを検討したい。

## 請願

日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

提出者

岩手県原爆被害者団体協議会  
ヒバクシヤ国際署名をすすめる岩手の会  
会長兼代表 伊藤宣夫

紹介議員

三枚山光裕 高橋伸二  
佐々木一治 阿部圭二

この請願については総務教民常任委員会に付託され審議されましたが、その後、提出者から「請願書取下願」が提出され、議場において承認されました。

取下げの内容

平成29年8月24日付け提出した請願は、趣旨に係る文章表現の不統一と併せ、直接議員に説明できなかったため。

## 陳情

「全国森林環境税創設に関する意見書採択」に関する陳情

提出者

全国森林環境税創設促進議員連盟  
会長 板垣一徳

## 第34回一関地区広域行政組合議会報告

升沢博子 副議長  
真菅光幸 議員

期日 平成29年7月31日  
場所 一関市議会議場  
4人の議員により新焼却施設、新最終処分場建設、住民監査請求、介護保険の現状等の一般質問が行われました。

平成28年度一般会計歳入歳出決算  
(賛成多数で認定)

平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算  
(全員賛成で認定)  
補正予算  
平成29年度一般会計補

正予算  
平成29年度介護保険特別会計補正予算  
(全員賛成で可決)

会計区分	収入済額	支出済額	平泉町負担分
一般会計(火葬場・ごみ・し尿)	24億587万円	22億8849万円	1億2585万円
特別会計(介護保険)	149億6377万円	145億3477万円	1億2120万円
合計	173億6964万円	168億2326万円	2億4705万円

## 平成29年度一関地区広域行政組合補正予算

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計(火葬場・ごみ・し尿)	1億2076万円	23億5380万円
特別会計(介護保険)	4億1218万円	152億4378万円
合計	5億3294万円	175億9758万円

## 平成28年度一関地区広域行政組合決算

## 議会改革推進会議

委員長 高橋伸二

本年1月に6人の委員で発足した「議会改革推進会議」は、5項目の「検討する課題」を確認し、始めに「議会基本条例」の検証作業に取り組み、条例を一部改正すべきとの結論にいたしました。これから12月議会までに、条例改正に向けた作業を行います。

改正の内容は、現行条例の不作為による誤植、落字などの加除修正、「反問権」の付与対象者を議会の審議に説明員として出席している執行機関にも拡大するものです。今後の審議は、議会基本条例の定めと議案審議の在り方等の整合性を検証することとなります。

## 世界遺産特別委員会

委員長 佐々木雄一

9月11日に議員全員で構成する特別委員会を開催し、世界遺産拡張登録

## 要望活動

8月7日と8日の両日、町長と共に国への事業推進と予算確保の要望活動を行いました。

8月7日  
岩手河川国道事務所  
東北地方整備局

出席者

青木幸保町長・佐藤孝悟議長・寺崎敏子副議長・千葉勝男産業建設常任委員長・高橋拓生産業建設常任副委員長・三枚山光裕世界遺産特別副委員長



要望活動で町の思いを

- 重点的な要望の内容  
国土交通省
- ①一関遊水地事業の促進
  - ②内水排水機場の整備
  - ③(仮称)スマートインターチェンジ及び関連道路の整備
  - ④国道4号平泉バイパス南口交差点から一関バイパス大槻交差点までの整備
- 文化庁
- ①平泉の文化遺産の世界遺産拡張登録の推進
  - ②国立博物館の誘致

# 総務教民常任委員会

## 町内視察報告

町内福祉施設の巡回視察を行い現状と課題について調査しました。

平成29年9月8日(金)  
参加者 委員6名

### ①社会福祉法人幸得会 多機能型事業所 「たけとんぼ」

障がいのある皆さんが自立した日常生活、社会生活ができるよう生産活動、創作活動の支援を行っている施設です。「就労支援B型事業所」では職業、生活支援員の援助で19名の方が作業に従事されています。

### ②介護老人保健施設 「さわなり苑」

看護、医学的管理の下で介護、機能訓練などのケアサービスを行います。通所リハビリテーション、訪問看護、介護など在宅ケア支援の拠点となっています。機能訓練士の介助でリハビリ機能の充実が図られていました。

援と感じました。

### ④特別養護老人ホーム 「いこいの結」

今年4月開設し、ユニット形式の長期入居3棟29名、ショートステイ・デイが1棟10名の要介護3以上が入居できる施設です。視察時点で介護職員不足のため長期入所は23名、ショート、デイは開設できていないということです。経営困難、介護職員の不足、介護費用の増大など課題は多いと感じました。



「いこいの結」の施設説明をする理事長

## 県外研修報告

期日 9月26日～27日  
視察先 福島県大玉村 福島県川俣町

### 大玉村：子育て支援

大玉村では、少子化対策祝い金として、第3子以降の新生児に『すこやか祝い金』30万円を支給し、28年度の支給実績は対象児童10人に対して300万円が支給されている。

また、障がいを持つ児童への支援として、『障害児童支援金』を保護者に支給する施策を行っており、いずれも村の単独事業である。村の子育て施策の基本理念を、『日本一の子育て支援を目指す』としており、一人親家庭医療費助成や不妊治療費助成など多様な支援策を展開している。

児童の教育面での特色は、幼・小・中一貫教育をおこなうコミュニティ・スクール制度である。小さい村を最大限活かした教育のあり方が、村の教育の生命線であるとの認識によるものである。成果としては、地域住民が学校運営に関心を持つようになったことや、学校の応援団としての機能を果たし、地域に開かれた学校になったことが感じられる事である。

### 川俣町：防災対策

27日は、川俣町を訪ね治水対策やハザードマップの活用などの取組みを伺った。東日本大震災における福島第一原発事故の影響が大きく、町に帰還を果たせない住民が多い地区



先進的なハザードマップを平泉町へ

# 産業建設常任委員会

## 町内視察報告

「異常気象」に伴う、農作物の影響・被害実績を確認調査。

調査年月日 平成29年9月8日(金)

### 調査地

- ・長島字中島地内 ほ場
  - ・平泉町戸内地区 ほ場
- 日照不足と低温による 水稲への影響

### 視察の結果

長島字中島地内のほ場は「金色の風」栽培地で2度の冠水被害があったが出穂前だったためか、被害が僅少だった。また、登熟状態は良好で、日照不足、低温に伴う「いもち病」の発生もほぼ皆無、ただ刈り取り時期については様子を見る必要がある。



J A職員と「穂いもち病」の発生ほ場を視察する

平泉町戸内地区のほ場は両側が小高い林の間で存在する地形で稲わらの成長はほぼ正常で「いもち病」の発生が至る所に見られた。一緒に参加した農林振興課長やJA職員によれば、例年「いもち病」が発生する場所であるらしい。今回は小範囲ではあるが「いもち病」が発生した。

幸い、作付けされている水稲は主食用ではなく肥育資料用(WCS)である。視察の結果は低温・日照不足に伴う、稲の被害は少ないものの集荷量の減少が懸念される。初期には穂はらみ期の低温の影響によるもので手の施しようがない。刈り取り時期を高温期にすることで青米を減少する必要があり、通年より刈り取り時期を遅らせることで、例年より多少の収量減で押さえることが出来るようです。

## 県外研修報告

期日 9月20日～21日

### 大鰐町の6次産業の取り組み

大鰐町の6次産業化の基本は、①農業を支える人づくり、②生活基盤の整備、③農産品の高付加価値型農業の推進である。町の産業は、米とリンゴを基幹産業とし野菜・果樹・畜産・花きなどを複合する農業の町であるが、後継者不足と農業者の高齢化が深刻な課題となっている。

高齢化により農家数、耕作面積も減少しているが、一戸当たりの面積は増加傾向にあり、少ない面積でも収益性の高い「施設園芸」に挑戦する若手の生産者が増えている。

町行政の農政振興事業(9項目)と農・商・工の連携の推進が結合し、集出荷技術の向上や農作業の省力化、機械化による経営規模拡大へと結び付いている。



特産の「ごぼう」の付加価値を高める作業工程

今大鰐町は、地場産品の「地産地消」による食育や健康長寿を含めた地域内利用にも力を注いでいる。

### 柏崎青果の6次産業製品の端緒

「私企業」の柏崎青果は、地域資源を最大限に活用した加工製品で、その発端は、農産品の加工過程で発生する「端切れ品」(年間約1000t)の廃棄処分経費の削減策として始まった。

農業者と連携した取り組みは、町内の各産業がともに発展し、地域の雇用確保(80人)と所得の向上、耕作農地の保全につながる「地域おこし」となっている。加工製品の販路は世

界各国に拡大し、代表的な製品に「おいらせ黒んにく」がある。

### 視察で学んだ6次産業化の取組課題

1. 魅力をかきたてる振興関連事業の策定
2. 地域資源の付加価値を高める製品づくり
3. アイデアと試行錯誤の繰り返し
4. 人と人との繋がりが販路拡大につながる